



未来を夢見て

2020/5/20 No. 10

ハナミズキの花※が咲いています

～「新しい学校生活の様式」の策定、飲酒運転根絶の日を迎えて～

先日、校庭を歩いていると、校庭の片隅にハナミズキの花が咲いていることに気がつきました。白いきれいな花で、季節が確かに春から夏に向かって進んでいることを感じました。暖かかった週末から一転して、今週は寒い日が続いています。今日も5月中旬とは思えないような寒さになりそうです。体調管理には十分に気をつけて生活していきましょう。

緊急事態宣言が解除され、宮城県内でも学校再開に向かって大きく動き出しています。それでも、新型コロナウイルスとの戦いは、長期戦の様相を呈していて、このまま終止符を打つことは難しいようです。

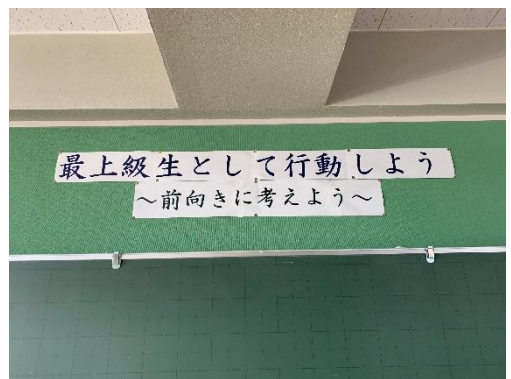
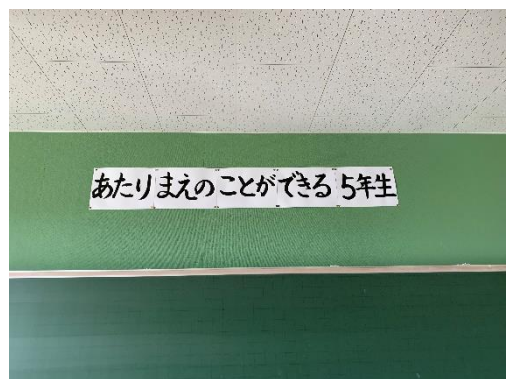
これから再開する学校生活では、常に感染予防を念頭に置きながら、「新しい学校生活の様式」で学校生活を送らなければなりません。そこで現在『小野小 学校再開学びの保証ガイドブック』を作成しています。明日の打ち合わせで、内容についてお話しますが、さらによくするためにには、皆さんお知恵を貸してください。

また、6月からの教育課程についても、現在検討を加えていただいています。私なりにいくつかの方針を提案していますので、ここも皆さんの意見をお聞かせ願います。

先日、教室の様子を見せていただくと、高学年の教室の前面に、写真のように学年での目指す姿が掲示されていました。子供たちにとっても、目指す姿が具体的に示されているので、とてもよいことだと思いました。教室だけでなく、小野小には、「あいうえおのしょう」「あいさつ名人」「もくもくそうじ」「はきものをそろえる」「みぎがわをあるこう」そして「こころがそだつ4つの言葉」など、学校生活を支えてきた潜在的なカリキュラムがたくさん存在していることに驚かされます。もちろん学校ですから中心は授業ですが、特に小学校の場合、授業の周辺にある「休み時間」「給食」「清掃」などを含めた「生活全般」をいかに指導できるかが、学校生活を充実させるポイントです。

さて、5月22日は「飲酒運転根絶の日」です。平成17年5月22日に登校中の仙台育英学園の生徒さんが飲酒運転車両の犠牲となり死傷した痛ましい事故が発生しました。この事故を契機に宮城県では宮城県飲酒運転根絶に關する条例を制定し、5月22日を県市町村等が一丸となって飲酒運転根絶の取り組みを行う「飲酒運転根絶の日」、また毎月22日を「飲酒運転根絶運動の日」と定めています。私たちは決してこの日のことを風化させることなく、当事者として受け止め、語り継いでいかなければなりません。4月の職員会議で「職員の職務係る倫理の保持ハンドブック」を渡していただきました。小野小の先生方には、釈迦に説法であることは承知の上で、自己を振り返る意味でも、1つ1つ確かめていただけたら幸いです。

※ハナミズキの花について・・・総苞片(そうほうべん)とよばれる色づいた葉っぱが大きくなり、花のように見えますが、この総苞片をたくさん付けた姿がハナミズキの花の正体です。本当の花は、この総苞片に守られるよう中心に密集して咲いています。



(文責：手代木)